

# 弥生 愛南文芸

## 城辺俳句会

初氷踏めば奈落へ落ちそうなる

鈍行止まる駅の賑い水仙花

冬薔薇三代つづく吾も寡婦

七草の青美しくお粥吹く

沖を見て海の青さや水仙花

安穏な母郷に泊り寒昂

冬りんご供えて今朝のひとり言

冬桜八十路の保険契約す

水仙花塀にいつもの猫がゐる

公園の炊き出し今日は雑煮なり

護摩経の火の粉た走る寒の入り

山田 静恵

仙波登志子

橋本 百代

大浜 紀子

宮田志賀子

山本 節子

加納 幸子

井手 幸子

田村 治子

吉田 丸美

大和田いそ子

## 城辺川柳会

「夢」

舞扇持つて踊るよ夢の中

夢消えた荒野に芽吹く小さな夢

ボランティア十年歩んで夢つなぎ

おみくじに夢は叶うと書いてある

老女だけど私夢みる夢子さん

お賽銭夢を背負って投げられる

夢の人生家族と共に生きて行く

孫達の夢多かれと思う日々

後進に夢を託して道譲る

藤森 玉子

矢鋪 都

木戸富士子

稲田つるみ

橋本 百代

本多 暁

沖 佐賀

飯田 律子

本多 一会

### ▶俳人をご紹介します

城辺俳句会 加納 幸子さん(御荘平城)

「季語の力を借りて生活を詠む」俳句を学んでみたいと思ったきっかけは、大和田先生の教えでした。城辺俳句会に参加させていただき毎月五句の投句と月一度の句会、今はコロナ下で中止となっていますが、月一度の吟行とその後の食事会を楽しんでおりました。



句会では、それぞれが五句投句し読み手に委ね、読み手は選句した感想を述べ合います。自分と同意見や違った解釈があり、新鮮で奥深くそれらがまた魅力でもあります。

難しいですが、風や花や生活に思いを寄せて、今、俳句に携わる日々をありがたく思っています。

## はじめまして。赤ちゃん。

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

## ご冥福をお祈りします。

地区名	亡くなった方	満年齢
-----	--------	-----

※右記1月受け付け分(敬称略)情報は、広報紙掲載に対して、ご家族等に同意を頂いております。

死亡後の手続きについては町ホームページをご覧ください。



愛南町  
ホーム  
ページ